

特集1 遠い隣人の文学を読む

阿部範之(あべのりゆき)

一九七三年東京都生まれ。専門は中国映画研究。同志社大学言語文化教育研究センター専任講師。主な仕事に、『舞台の姉妹』の反時代性、「言語文化」第二巻一号、二〇〇九年、「中国映画史における政治と映像」(『一橋論叢』二〇〇四年三月号)、『日中映画論』(共訳、作品社、二〇〇八年)など。

尾崎文昭(おざきふみあき)

一九四七年熊本県生まれ。専門は中国近現代文学。東京大学東洋文化研究所教授。主な仕事に「魯迅の多疑」思惟方式についての試論(『魯迅研究の現在』汲古書院、一九九二年)、「中国近現代文学の基本構造とその終焉についての試論」(『アジア学の将来像』東京大学出版会、二〇〇三年)などがある。

郭元宝(Gao Yuanbao)

一九六六年安徽省生まれ。専門は中国近現代文学理論・文学。上海復旦大学中文系教授。主な仕事に、『魯迅六講(増訂本)』(北京大学出版

社、二〇〇七年)、『小批判集』(復旦大学出版社、二〇〇八年)、『在語言的地圖上』(文匯出版社、一九九八年)など。

木山英雄(きやまひでお)

一九三四年東京都生まれ。専門は中国文学。一橋大学名誉教授。主な仕事に、『日本談義集』(編訳、周作人原著、平凡社東洋文庫、二〇〇二年)、『周作人「対日協力」の顛末——補注「北京苦住庵記」ならびに後日編』(岩波書店、二〇〇四年)、『人は歌い人は哭く大旗の前——漢詩の毛沢東時代』(岩波書店、二〇〇五年)など。

坂井洋史(さかいひろぶみ)

一九五九年東京都生まれ。専門は二十世紀中国文学史。一橋大学大学院言語社会研究科教授。主な仕事に、『懐梅と越境——中国現代文学史研究』(汲古書院、二〇〇五年)、『陳範予日記』(上海学林出版社、一九九七年)、『九月の寓話』(翻訳、張雄原著、彩流社、二〇〇七年)など。

鈴木将久(すずきまさひさ)

一九六七年東京都生まれ。専門は中国近現代文学。明治大学政治経済学部准教授。主な仕事に、

『戦時上海』(共著、研文出版、二〇〇五年)、『モダニズムの越境』(共著、人文書院、二〇〇二年)、『竹内好セレクション』(共編、日本経済評論社、二〇〇六年)など。

薛毅(Xue Yi)

一九六五年上海市生まれ。専門は中国近現代文学・文化研究。上海師範大学中文系教授。主な仕事に、『無詞的言語』(上海学林出版社、一九九六年)、『当代文化現象与歴史精神伝統』(広西師範大学出版社、二〇〇八年)、『魯迅与竹内好』(編著、上海書店出版社、二〇〇八年)など。

松永正義(まつながまさよし)

一九四九年東京都生まれ。専門は台湾文学。一橋大学大学院言語社会研究科教授。主な仕事に、『台湾文学のおもしろさ』(研文出版、二〇〇六年)、『台湾を考えるむずかしさ』(研文出版、二〇〇八年)など。



特集2 トランスアトランティック・モダニズム

ディナ・アルリカーシム (Dina Al-Kasim)

カリフォルニア大学アーバイン校比較文学科准教授。専門は比較文学(英文学、仏文学、アラブ文学)、ポストコロニアル批評、精神分析、セクシュアリティ研究など。著書に *On Pain of Speech: Fantasies of the First Order and the Literary Rant* (University of California Press, forthcoming 2010)、共著 *Islamicate Sexualities: Translations across Temporal Geographies of Desire* (Harvard Center for Middle Eastern Studies, 2008)、*Derrida/Deleuze/Pynchon* (Columbia Press, 2007)。

編詞哲(うかい・さと)

一橋大学大学院言語社会研究科教授。専門はフランス文学、思想。著書に『抵抗への招待』(みすず書房、一九九七年)、『応答する力』(青土社、二〇〇三年)、『主権のかなたで』(岩波書店、二〇〇八年)など多数。

尾崎文太(おさき・ぶんた)

一橋大学大学院言語社会研究科非常勤講師。専門はフランス語圏文学、カリブ地域研究。論文に『エメ・セゼールの戯曲作品と政治思想』(一九四〇年代から一九六〇年代まで)、『橋大

学博士論文、二〇〇八年)、『マルチニックという(民族)』、『フランスと(国家)』、『ネグリティュードからクレオールにいたるマルチニック・アイデンティティの軌跡』、『状況』二〇〇六年

五・六月号)、『エメ・セゼールの戯曲』、『クリストフ王の悲劇』における黒人指導者の情況／国家建設と脱植民地下の問題をめぐって』、『フランス語フランス文学研究』八三号(二〇〇三年)など。

遠藤不比人(えんどう・ふひと)

成蹊大学文学部准教授。専門は英文学。共編著に『転回するモダン——イギリス戦間期の文化と文学』(研究社、二〇〇八年)、主要論文に『根源的否定性の唯物論を巡る覚書——ジェフリー・メルマン』、『革命と反復』を再読する』、『レイモンド・ウィリアムズ研究』第一号(二〇〇九年)。

大田信良(おおた・のぶよし)

東京学芸大学教育学部教授。専門は英文学、批評理論。著書に『帝国の文化とリベラル・イングラント』(慶應義塾大学出版会、近刊予定)、共編著に『転回するモダン——イギリス戦間期の文化と文学』(研究社、二〇〇八年)、共著に『Locating Woolf: The Politics of Space and Place』(Palgrave Macmillan, 2007) など。

中井亜佐子(なかい・あきこ)

一橋大学大学院言語社会研究科教授。専門は英文学、ポストコロニアル研究。著書に『他者の自伝——ポストコロニアル文学を読む』(研究社、二〇〇七年)、『The English Book and Its Marginalia: Colonial/Postcolonial Literatures after Heart of Darkness (Rodopi, 2000)』共訳に『スビヴァク、日本で語る』(みすず書房、二〇〇九年)。

中山徹(なかやま・とおる)

一橋大学大学院言語社会研究科准教授。専門は英文学。共著に遠藤不比人他編『転回するモダン——イギリス戦間期の文化と文学』(研究社、二〇〇八年)、翻訳にスラヴオイ・ジジェク『操り人形と小人』(青土社、二〇〇四年)など。

三浦玲一(みうら・れいいち)

一橋大学大学院言語社会研究科准教授。専門はアメリカ文学、ポストモダンニズム。著書に『ポストモダン・パルセルミ』(彩流社、二〇〇五年)、翻訳にウォルター・ベン・マイケルズ『シニフィアンのかたじけ』(彩流社、二〇〇六年)。他に大橋洋一編『現代批評理論のすべて』(新書館、二〇〇六年)に参加。

